

平松礼二館

開館25周年記念
四季の風景-季節のうつろいに寄せて

▼3月30日(日)～令和6年3月25日(日)

日本画家・平松礼二は、日々の暮らしの中で身の周りの花や生き物に命の美しさを感じ、自然の中に創作意欲を掻き立てられてきました。

令和5年度は、1年を通して季節ごとに四季折々の花や風物を描いた作品を展示する企画展を開催します。展示室にいなながら季節のうつろいを感じていただければ幸いです。

また、今年度最後に飾る特別企画展として、新作「湯河原句彩」シリーズを展示いたします。

特別企画展「湯河原句彩」シリーズ
季節の彩り～湯河原の四季

▼令和6年1月1日(日)～3月25日(日)

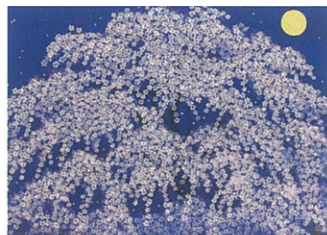
美術館内のアトリエを拠点に湯河原の風景を描き、平成30年に「湯河原十景」を完成させた平松画伯は、その後湯河原の自然の中で育まれた食材をテーマとした作品を順次制作してきました。このたび「湯河原句彩」シリーズとして完成した作品を、一堂に展示する展覧会を開催いたします。併せて「湯河原十景」作品も展示いたします。



平松礼二「季の贈りもの」

春-生命の輝き

▼3月30日(日)～6月26日(日)



平松礼二「日本の折り(せくら)」

冬の眠りから覚め万物が動き出す春。一年の中で最も生命力にあふれる季節です。まだ寒さの残る早春から可憐な花を咲かせる梅の花、一斉に花開く桜や菜の花などが華やかに咲き競います。

夏-睡蓮を中心に

▼6月29日(日)～10月23日(日)



平松礼二「睡蓮ジャポニスム」

平松礼二の代表作といえば、フランス・印象派を題材にした「ジャポニスムシリーズ」。美術館に移植された「モネの睡蓮」が咲く夏は、水辺の風景が涼し気に映えます。睡蓮を中心に夏をイメージする作品を集めて展示します。

秋から冬へと

▼10月26日(日)～12月25日(日)



平松礼二「大観山金秋」

鮮やかな紅葉、枯れ色の中に咲く野の花、冷気に立つ裸の木々。秋から冬にかけては、季節のめぐりとともに確かに息づく植物たちの力強さに、しみじみとした抒情を感じます。画家の心をとらえた自然のたたずまいをご覧ください。

特別展

開館25周年記念 対照の妙 牛田雞村展

▼10月26日(日)～12月25日(日)



牛田雞村
「湯河原連山」

横浜市に生まれた牛田雞村は、明治末期から大正、昭和にかけて活躍した日本画家です。新しい日本画を目指しグループ展や院展で活動した画歴の前半と、画壇を離れ舞台装飾を手掛けた後半。あるいは、湿潤な大気を感じさせる風景画と無駄を排した簡潔な人物画のように、その長い画歴の中で見られる対照点に焦点を当てた展覧会を開催します。

本展では、当館建物の前身である天野屋旅館に残された松羽目などの板絵3点を初公開します。画業の転換期にあたる作品と言え、戦前の作品と合わせて展示することで雞村芸術の一端を知る貴重な機会となるでしょう。

収蔵品小企画展

みえるもの、みえてくるもの

▼6月29日(日)～10月23日(日)

絵をみるとき、私たちは何をみているのでしょうか。形、色、線といってしまうと単純ですが、それら物質的な要素を通して感じられる“何か”をみることが作品鑑賞の醍醐味。文字情報となるキャプションをつけながら展示です。みることに心を澄ましてみましょう。



井上三綱「懐素と桃」

常設館

※約3か月ごとに展示替え

晩年湯河原に画室を設けて制作活動をした日本画家・竹内栖鳳を中心に、安井曾太郎、三宅克己、伊東深水等この地にゆかりの作品を収蔵品の中から紹介します。

展示予定

竹内栖鳳「喜雀」(6曲1双屏風)
3月30日(日)～8月21日(日)

安井曾太郎「赤き橋の見える風景」
10月26日(日)～令和6年3月25日(日)

第17回現代作家展

地元ゆかりの作家を中心に現在活躍中の作家を紹介する展覧会です。個性あふれる作品との出会いをお楽しみください。

リタ藤田展 RITA's World XI

▼3月30日(日)～4月24日(日)

錫や銅などのメタル素材を自由な発想で加工、彩色した平面作品を制作するアーティスト。59歳から独学で制作をはじめ、自ら生み出した技法を用いて独自の世界を創出しています。メタルの煌めきを堪能ください。



「気球は何処へ」V」

とうき 東儀恭子展 うつりすみ 古今

▼4月27日(日)～5月22日(日)

湯河原で活動する日本画家。「古来より身近にあり、神祕的な存在、時代風俗の背景など様々に描かれてきた」動物を主なモチーフとして描いています。院展出品物を含む新作までを集めた展覧会です。



「犬も歩けば野辺の花」

よこいよま 横井山 泰展「あたかもよし」

▼5月25日(日)～6月26日(日)

とぼけた表情の動物や生き物の姿を借りた人物など、愛嬌ある姿の中に人間の本質を描き出す洋画家。作品制作の転機となった鳥瞰図の絵巻物を含む大作を展示します。



「Oh my little girl」

平松礼二公開アトリエ

公開時間 9:30～16:00

平松名誉館長のアトリエを公開します。制作途中の作品や画材をご覧ください。



※作者制作中及びイベント開催時にはご覧いただけない場合があります。

湯河原は古くは万葉集にも詠まれた温泉保養地として知られ、明治から昭和にかけて多くの文化人が静養に訪れています。「東の大観・西の栖鳳」と称された日本画家・竹内栖鳳や洋画家の安井曾太郎は、晩年この地に居を構え制作活動をしました。町立湯河原美術館は夏目漱石や竹内栖鳳が逗留した老舗旅館を改装し平成10年に開館しました。現在、現代日本画家・平松礼二の作品を展示する「平松礼二館」と収蔵品による「常設館」のほか、特別展や現代作家展などの展覧会を開催しています。

